

みちのく会は東日本大震災により道内に避難している被災者たちの会です。当会は2011年4月23日に会員同士の互助、地元市民とのコミュニティの発生、経済的自立を目指し、様々な取り組みを行っております。

ホームページ : <http://michinokukai.info/>

ブログ : <http://ameblo.jp/coco-kara-hokkaido/>

メールアドレス : office@michinokukai.info

3・11 それは、あの日から迎える日々の延長上の1日…。でも、やはり特別な1日。

「本間さん、震災からまもなく3年経ちますが…」

去年の秋ごろから、こんな質問がどんどん多くなっていました。これまで、振り返ることができにくかった分、あらためて少しだけ振り返ってみると、自分には受け止められないほどのものがあることに気がきました。

この3年の歳月に抱えたものの大きさ、重圧…。今までの中で、こんなにきつと思ったことは、初めてでした。そして不思議なことに、近くにいる人たちからも同じような声が聞かれました。

まずは、みんな頑張ってきたよね。

いろんな人がいて、札幌市内にも岩手県の沿岸部などから津波の被害を受け避難されている方々も数十世帯いらっしゃいます。中には大正生まれの方々もいます。みちのく会には、震災と人災の被災者が、同居しているのです。

同じ母子での避難でも、子どもを守るために毎日在必死で働いて「避難者であることすらすでに考えてる暇なんかない。」「避難者として意識して暮らしたくない」という人もいれば、時間が経過すればするほど不安や困難は大きくなり、母子避難世帯には、自立ということはありえないだろう…と思えることも多々あります。

しかしながら、この3年、なんといっても「まずは、みんなよく頑張ってきたよね…」というのが、本音でしょうか。何も変わっていないかもしれない3年。でも、頑張ってきた足跡は、ちゃんと残ってるよね。

北海道の皆さん本当にありがとうございました。

この3年、北海道のたーくさんの方々に受け入れていただいたこと。行政も民間の方々も“深く”“厚く”“あたたかく”寄り添ってくださったこと、本当に心より感謝をしています。

3月に入り「4月から北海道に来ます」という連絡が毎日のように続いている現実。そして大きな選択の中で、第2のステージへと向かう人。いろいろな出入りがある3度目の春。

出逢ったご縁を大切に、これからもそれぞれの大事にしている生活に向かって進んで行くための、ささやかな「“みち”しるべ」になれるような「“みち”のく会」でありたいと想っています。

※住所変更等が発生する場合は、いつでも遠慮なくご連絡ください。会長 本間紀伊子

東日本大震災による被災避難者支援事業(北海道委託事業) 北海道広域避難 これからフォーラム in 札幌を行いました。

あったかい道とみちのく会がコンソーシアムで行っている「北海道広域避難アシスト協議会」では、3月11日(火)札幌エルプラザ3階にて、日本大震災による被災避難者支援事業(北海道委託事業)北海道広域避難これからフォーラム in 札幌「私たちはここにいるよ」開催させていただきました。



東日本大震災から3年目を迎えるこの日、避難されて来た方々、一般市民、行政や支援団体の方など多くの方がご参加くださいました。



第一部では、14時46分には参加者全員で黙祷を行い、その後、宮城県石巻市で被災し、市の職員として半年間遺体安置所でお仕事をされていた瀬戸公美子さんによる当時から振り返ってのお話と被災地の現在起こっている高齢者や様々な問題点などをお聞きしたあと、胆振支部 二瓶勇樹支部長に震災当時のことやご自身の経験、現在行われている活動などの



お話をいただき、会場から大きな拍手が湧き上がっていました。第二部では、北海道広域避難アシスト協議会 代表湊源道とみちのく会会長本間紀伊子による、震災後から今までの思いや活動の話をさせていただいた後、陸前高田市在住の佐藤直志さん77歳の震災後を描いたドキュメンタリー映画「先祖になる」を上映し、会場の皆様にご覧いただきました。



今回のフォーラムでは、平日にも関わらず、第一部・フォーラムには約180名、第二部・映画上映では約130名の方にご参加いただきました。一般市民、道民の方が関心を持ってたくさん来ていただいたということが、とても嬉しく思います。当日ご参加いただいた皆様、お手伝いいただいた皆様、同時開催のパネル展示へのご協力をいただいた皆様ありがとうございました。

みちのく会の手記「あの日・・・そして今 311・北海道に避難した者たちの手記vol.3」が完成いたしました。

みなさんこんにちは。みちのく会手記担当園部(そのべ)です。この度、みなさんから寄せていただいた原稿やvol.2から転載させていただいた原稿で、無事にvol.3の完成に至りました。今回も、それぞれの家庭がどのように想い、決断し、現在に至り、これからをどう考えているかということがよくわかる大変良いものが出来ました。またお子さんからご年配の方まで幅広い年齢層の方たちの想いが詰まっており、避難者の方はもちろん道民の方にも伝わ

りやすいものになったのではないかと思います。

3月11日に行われた北海道広域避難アシスト協議会主催の『北海道広域避難これからフォーラム in 札幌私たちはここにいるよ』にて、多くの市民の方達にも配布することが出来、今回手記作成に携われたことをとても誇りに思っています。みなさんのご協力、本当にありがとうございました。



手記を読んで(恵庭支部・小林 愛)2014年3月12日

昨日のフォーラムでもらった3.11の避難者の手記を丁寧に読ませてもらった。それぞれ人の震災当時の気持ちにそって。その中でやはり子どもたちの手記がとても心に響いた。年齢が上がるごとに、自分の置かれた状況を説明できていて、ドキッとした。

「原発は高度成長期の坂を登っている途中にできたものです。その影響など考えなかったのです。数万年、人間が放射性廃棄物を管理できるとは思いません。先祖が残したゴミをなぜその後に生まれてきた僕たちが処理しなくてはいけないのか、納得がいきません。」

という15才の男の子の手記の一文が読んでいて辛かった。これから成長していく子どもたちは、必ず一度はこう思うんじゃないかと思ったからだ。

今、私達だって原発事故がこんなになるなんて思わなかったって思っているくらいだし。これから原発事故はどんな収束をむかえて、私は自分の子どもがこの疑問を持った時に納得させることができるのだろうか。

第4回「起業勉強会」が行われました

2月24日(火)みちのく会月寒オフィスにてあったかい道主催の「起業勉強会」が行われました。

内容は、Web集客コンサルタントの武藤正隆講師によるインターネットを使った集客方法に重点をあてたものでした。

「ほしいものがある。あなたはどうしますか?」という問いかけから、SEOと呼ばれる、検索による上位表示の重要性からはじまり、フェイスブックやユーチューブなどのソーシャルメディアの活用法、またそこからどのように集客に結び付けるかなどの一連の流れをもって解説して頂きました。とくにソーシャルメディアとは「人をつなげ、双方のコミュニケーションと情報の共有」という、教えて頂いた定義は、震災後なぜソーシャルメ



ディアが広まったのかという状態を表しているなあと感じました。また、あなたのことを知らない人知ってもらうためのインバウンドマーケティングの考え方も面白いと思いました。

- 1) どうやって見込み客を見つけるか?
- 2) 何人買ってくれそうな人はいるか?
- 3) 興味を持つ人は何人いるか?

という見込み客を見つけるにあたっての商売の基本に添った大事なとらえ方もあり、実用的な面もあり1時間という枠の中で、様々な考え方を教わることが出来ました。これからの情報の発信方法、また受信方法を学ぶのにとっても勉強になりました。また武藤さんつながりのある、一般社団法人全日本ビジネスサポート協会が設立されたということでの厚意もあって実現した今回の勉強会。とても魅力ある時間でした。(藤本)

これまで起業勉強会に参加された方々の中から、実際に飲食店を出店されたり、個人事業としてフォトスタジオを開業されたり、ネットショップに出展したり、教室を開いたり・・・と次々と行動される方が出てきています。

すぐに起業を考えている方でなくても、いろいろなアイデアが得られる会だと思いますので、次回以降も是非多くの方のご参加をお待ちしています(本間)

みちのくkids春スクール2014参加者募集!!



みちのくkidsが企画するあそびで楽しい3日間!たくさん子どもたちの参加をお待ちしております。

申し込み方法はこの要項の一番最後をご確認ください。

2014年3月27日(木)~29日(金)

10:00~15:30(受付9:30開始) ※1日からの参加もOK!

【対象】3歳~中学3年生

【参加費】1人1日500円 ※3日間参加の場合500円引き!

【場所】27日・28日 市民活動プラザ星園

29日 札幌市内・札幌エルプラザ

【日程】27日 午前*レク・学習支援

午後*集まれ!海の仲間たち(工作)

28日 午前*学習支援

午後*うどん作り※食べずに持ち帰ります。29日 午前午後*札幌マスター地下鉄の旅

※巨大な地図を作るために、チームごとに事前に決められたルートに沿って地下鉄で行き写真を撮ったりスタンプを集めたりします。

【申し込み方法】

13kids.school@gmail.com

まで下記の内容を記入の上送信してください。

- ①参加者氏名②性別 ③学年 ④電話番号⑤住所⑥参加日程
- ⑦保護者氏名⑧写真について(A全て許可/B後ろ向き、ぼかしのみ可/C全て不可)⑨アレルギーの有無(原因食物)
- ⑩27、28日の地下鉄駅までの送迎について(A送迎不要/B中島公園駅まで/C豊水すすきの駅まで)
- ⑪保護者の方が同伴するかどうか(される場合は日程)

皆さんのご参加、お待ちしております!

毎週開催「みちのくカフェ」

4月から..木曜日に変わります♪



これまで、毎週水曜日に開催していた、茶話会「みちのくカフェ」の開催日が2014年4月より、木曜日に変更になります。

これまで参加したことのない方も、暖かくなってきますので、ぜひ、足をのばしてお茶を飲みに行ってください。

毎週のみちのくカフェの内容については、事前にみちのく会のメーリングリストにてご案内をしています。またみちのく会のホームページ内の「みちのく会行事予定カレンダー」でもご確認いただけます。

●日時:毎週木曜日 11時~14時

●場所:みちのく会 月寒オフィス

札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11 地下鉄東豊線 月寒中央駅1番出口 徒歩3分(アンパン道路直進)

お子さんは、向かい側の児童会館で遊ぶことができます。
※就学前のお子さんは、みちのく応援団の「はっちゃん」がサポートとしてお子さんと遊んでくれています。
※4月以降は、他の地域でのお茶会も予定しています。
※簡単なお茶の用意はしていますが、お昼は各自お持ちよりください。

みちのく会 旭川支部より

3月9日、支部主催事業を実施しました

皆様、こんにちは。標題の通り、主催：みちのく会旭川支部、共催：NPO手と手の森・放射線視覚化プロジェクトで「東日本大震災から三年 私たちはここにいるよ@あさひかわ」という事業を実施しました。来場者は約400名。参加会員は16名(子ども含む)。主催者として参加できなかったけれど来場くださった会員を含むと、30名の方が交流を深めることが出来ました(※私が確認できた会員さんの数)。旧カフェにかかわってくださった支援者さん達も多く来てくださり、あの日を振り返るとともに語らいの場ができたことは大きな収穫でした。ご来場くださった方々、そして祝電をご手配くださった方々に厚く御礼を申し上げます。



放射線可視化プロジェクトの写真家 野口さんご本人も会場にいて、市民や会員の問いかけに熱く語っていらっしゃいました。NPO手と手さんのブースや、企画写真展も大好評で多くの方々が観て行きました。剣淵町のジャガイモ100kg販売や、「瓦RE:Key」(がれきーと読みます)という陸前高田の被災者支援につながるキーホルダーの販売も非常に好評でした。実は、イベントを撤収した後、お預かりしている現金をカウントできていません(3/14現在)…。申し訳ありません。次号で、きちんとご報告しますので、お時間をください。

市民とつながり、そして「ここにいるよ」という存在の主張を何とか表現できたでしょうか。あらためて、ご参加くださった方々へ敬意を表します。有難うございます。

●ご案内

旭川司法書士会の会長、岸本様とつながっています。会員さんで、司法書士さんに相談したいことがある方、岸本様が個別に対応をご検討くださいますので、①相談したい日時②会える場所を、私までご連絡ください。岸本様は、ボランティア対応です。

●ご連絡

マルカツの現事務局スペースを、飲食店として、コミュニティカフェとして、そして支部事務局としての運用を継続して下さる希望を持った方が現れました。「個人事業主」としての立て付けで、飲食店開業を希望されています。ここであえて申し上げますが、当団体の会員さんの交流の場を提供、復活させ軌道に乗せたいという熱い想いを持った南相馬出身の女性です。個人の事業を、家賃が無料みたいだからやらせて欲しいというような軽い気持ちではないことを、代弁しここでご報告を取り急ぎ申し上げます。本件で、近々に会員さんにご紹介含め、説明会を行ないたく考えていますので宜しくお願い致します。

みちのく会のお問い合わせ先はこちら

※入会のお申し込みを随時受付しております(会費無料)
※お電話や、お越しの際は、月寒事務所へお願いいたします

■みちのく会 事務所

住所：札幌市中央区南8条西2丁目市民活動プラザ星園201
Tel・Fax:011-206-1522

E-mail:office@michinokukai.info(月寒オフィス共通)

■みちのく会 月寒(つきさむ)事務所

住所：札幌市豊平区月寒西1条7丁目1-11/交通：地下鉄東豊線 月寒中央駅1番出口から徒歩3分(アンパン道路)

Tel・Fax:011-826-4092

■旭川支部 支部長 金谷 光英 〒070-0032 旭川市2条通7丁目227番地-1 マルカツ3F Tel:090-2737-3451

E-mail:asahikawa@michinokukai.info

■空知支部 支部長 篠崎 龍一 〒069-0351 岩見沢市北村砂浜4925 Tel:050-5535-5518

E-mail:sorachi@michinokukai.info

■函館支部 支部長 鈴木 明広 〒041-0843 函館市花園町33番地8-606 Tel:090-2984-3752

E-mail:hakodate@michinokukai.info

募金先：口座名称「被災者子ども安心基金」

HP:http://www.kodomo-anshin-kikin.org/

E-mail:ikaodori555@ybb.ne.jp

郵便局口座記号番号:02770-2-69436

■胆振支部 支部長 二瓶 勇樹 〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町167-6 Tel:090-4555-3275

E-mail:iburi@michinokukai.info

■恵庭支部 支部長 小林 靖 〒061-0374 恵庭市恵み野北3-1-1 恵庭RBパーク S-205 Tel:050-3553-8884

E-mail:eniwa@michinokukai.info